

OB通信—冬山直前特大号—

この冬センセーショナルにファッションブルに!
町の視線はSAC[®]がひとりじめ

◎ 「登はSACを救う! —そしてSACは救われた!!」
— SAC装備救援委員会に寄せられた、OB諸兄の「登」の
中間発表。————

○ 9月に結成されました「SAC装備救援委員会」はOB諸兄の「登」により、その最初の目標を達成し、莫大の金額を装備救援基金として集めることができました。秋山のシーズンには遅れるものの来たる冬山シーズンの装備再編の為に力強く、心暖まる基金となりました。このセキがライ世の中にあつて寄せられた数々のOB諸兄の「登」と、お騒がせしたOBの皆様、この紙面でもうまい感謝の意をあらわしたいと思ひます。どうもありがとうございます。

秋山シーズンの装備不足に際しては「夏合宿・剣・小窓の王南陸 遼瀋事件」により、山岳保険からマツラのザイル2本が支給され、また部員の個人負担により登攀具（ザイル・フレンズー韓国遠征の際に韓国製フレンズを3set購入）を備えることができました。その為最初の予定とは違つてしまひますが、この装備救援基金は厳冬期に備えて、Pre冬・冬山合宿のFix具とトランジールの購入にあつたいと思ひます。

当りては数々のOB諸兄から寄せられた莫大の愛の発表です。

なんと総額 九萬田!

そのうち分けは...

中田茂様	¥ 10000	—
片山博彦様	¥ 10000	—
二俣勇司様	¥ 5000	—
西郡光昭様	¥ 10000	—
中込邦男様	¥ 5000	—
川原修様	¥ 10000	—
田辺治様	¥ 10000	—
澤田克孝様	¥ 30000	—

(以上着順)

計 ¥ 90000

となりました。なお澤田克孝兄は頭初T30000.田を上限とする自家製小切手、を救済委員会に送って頂きましたが後日上限額を書留にて送付して頂きました。

現金書留に同封された年紙の数々には「愛」一当りけましくラブ・レターの様だ — が、おありました。OB諸兄の近況を知らせると共にその「愛」を全文掲載させて頂きます。

T SAC 装備救援委員会

藤田正弘様

拝啓 皆さんいろいろ活躍されているようで、うらやましい限りです。9月には二俣、茂呂、田淵君等と谷川岳の万太郎谷に行き、頂きました。二俣君のせいでいっつも雨降りの山行になりました。

さつ／＼田君の装備として送ります。事故のせいも御注意下さい。しかし注意しても起きるのが事故ですので、起きたあとの処理をスムーズにすることを考えるしかないのでは、

OBの方の海外登山研究会もO月内で動くものがいなくなり、長期休暇に入りました。現役の諸君にも頼りないと思われていると思いますが、韓国への登山計画もあるとのこと、是非御利用することをお願いいたします。また今回も救援委員会が募金していますが、外国への登山を期に装備をかさぐのも一つの便法だと思います。

では今後の御活躍を期待します。

谷川君にもよろしく 敬具

水戸市白梅4-7-36

福甚コーポ 中田茂

(9/30発)

「前略 9月に3週間、中国へ行っていたので、遅く返りました。登山の装備には間に合っていないかもしれませんが、役立てて下さい。今後、益々の御活躍と安全を願っています。 10/3 片山博孝」

「下田は今日より日立市の奥家近辺に転居したので奥家
といわせて下さい。

気を付けて登るよう。アラヨ!!

1985.10.7 フタマタ

「志一 山岳部カンパ」——西希光昭兄——

「山々の頂も大分白くなつてゐる頃と思います。装備補充資
金の一助にささやかながら同封のもの寄付いたします。

川崎市中原区新城1-18-5 中込弘男

(11/18 発)

「SACの台所が多少苦しくなつてゐたとは知りません
でした。些少ですがカンパしたいと思つたのでザイル代
の足しにでもして下さい。しかし部員あつた山岳部、少
少財政的に苦しくとも大丈夫でしょう。今年、部員数も多
いらしいので今後の活躍を期待しています。

ところで私の在籍中にも「なぜか消えてゆくカウピナ、シ
ョリングの怪」という装備の不思議がありました。装備品の
管理をより一層厳重にしてほしいと思つた。

ではOB通信の充実楽しみにしてつきます。

香川県警 巡査 川原 修

(11/11 発)

田辺治兄 — OB会にて封筒を現役部員
に手渡し —

「外国へ行くのもよろしいけどオーソドックスな実カもが、ちりつ
といた方がよろしいと思う今日この頃… がんばって下さい。
(P.S) 私も今冬より復活する予定だ!!」

—— 須田 克彦 兄 11/3 中原泰にて自家製小冊子
と復に手渡し ——

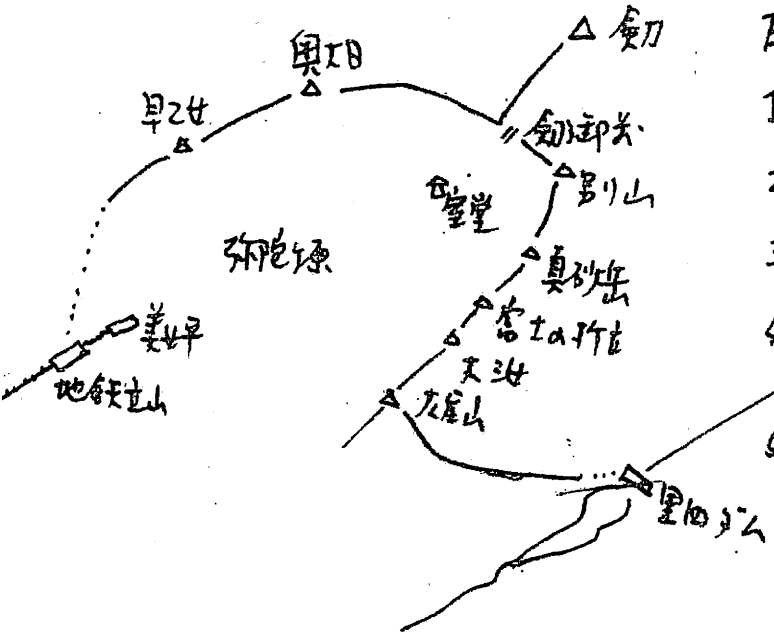
以上が OB 諸兄から熱い「愛」のほどばしるメッセージです。
有難く救援基金 つかかせて頂きます。

… とこで …

この SAC 装備 救援基金の依頼は決して少くなくない OB 諸兄の
皆様よりおしかりの言葉を受けました。「突然過ぎる」、「OB 会と
一諾に行うべきであった」、「OB 会と相談した方が年度はじめに一
括して集めることができるので検討すべきであったらう」、「自分の金で
山へ行くべきであらう」、「……」 御批判にも、ともであります。
たしかに「装備が悪い」→「カンパいとおごう」→「救援依頼」
という単純な思考のもとにふたつ、また、また 現設部員だけで
の独走という状態に陥り入り、多くの OB 諸兄の皆様には御迷惑をお
かけしたと思います。自カ脱出を最後までこころみず、また 避難
対策本部 (OB 会) に充分な連絡をとらず スタンド・プレーをしてし
まった今回の救援金依頼は反省しなくてはならないと思います。
今回の例をよく参考に (て今後より「カンパいとおごう」場合には
慎重に検討したい) と思います。

② 環設の近況!? その2

今SACは85年度の総決算 冬山合宿の準備にいきなして
 おります。今年の冬山は 大町~黒田ダム~大屋山東尾松~
 剣御岳~上級生のみには 剣アツツ~奥大日・早乙女を経て
 地鉄立山駅へという 準備 11日 予備 10日の計画です



- Escape ルートは ...
- 1 付下山
 - 2 一の越-壁
 - 3 剣御岳~ "
 - 4 奥大日-馬場島
 - 5 早乙女~ "
- と行っています。

今回の冬山は81年の剣冬合宿と前半戦が全く一緒では
 ありますが、近年未踏の残されたルートが「剣北方横線」と
 「グレイモン・コース」となり 両計画とも去年度の「靉不知~白馬」の
 年いたい反撃・悪襲(14日間で大ヶ岳で敗退)で退きながら
 現計画となりました。5年生2人を含む 上級生総勢8人と
 一年生8人の大所帯。今年は雪が早く、かつまた積雪量も多く
 豪雪の予報もあり いったいどんな冬合宿となるのでしょうか。

◎ 現役の近況 その2

来年度は確認されているだけでも3つに別れてネパールに現役が4人行く予定です。

・3年部長 角谷くみ 泉州山岳会と併にポスト・モンスーン期に
アンタピル山群のティリツツォへ。

・5年部長 こばべーん 友の繊維学部OBの森田稲吉郎氏に
2年部長 カラバタくみ 率いられた「身体障害者ピマウヤ登山」に
サポートとして7月・モンスーン期に
クンブー山群カラバタールへ。参加の後
はXラ・ピークの予定。

・3年部長 加藤くみ ネパール放浪の為に来年度一年休学
予定。イベントに2ラインボーマンの修業か？

他にも前回の味をしまった韓国インスポンゴと洋行ゲーム？

と計画しております。(インスポンゴは素晴しいライジングとすばくしい韓国クライマー)
運が良ければ、行きます。

◎ 現役の近況 その3

7年部長の岩村さんと3年部長の大前くんは見事、青年海外
協会の隊に合格(来年度はコスタリカ(岩村)バンクーテッシュ

(大前)に行くことになりました。岩村さんは森林工学科に在籍
しています。おそらく「熱帯植物の栽培」で合格したので

現在鳥取の農産物の農業試験場で修業しています。

大前くんは2年生より入部した為に今年卒業であります
が秋の試験に合格した為卒業をまたすに駒ヶ根の

※ 訃報センター一送りとなりました。(1100-ゲラ・コスタリカ・フィリピン
山本都出身は金銭を王族の御説あり)

◎ あの山本雅大さんにお目でした

57年度理学部卒業の山本雅大(カタインでなくマサヒロ)氏が
出産したのでなく、郷里に残ったリカさん(お嫁さん)が
11月と12/12に男・女の二見出産しました。あのキャラン
ポラン(自称)の山本さんもこれで二見の父親です。
有難や有難や。とこうで私感ではありますがやはり

男の子の方の名前は「山」とすべきと思います……「山本山」

(山本雅大又は現在フィリピンで青年海外研修隊として「カヌー」の名で活躍
しています。「カヌー」≠「カス」≠「カニカス」)

「OB通信」がいつのまにか「オレ通信」や「加内会ニース」
の様にT1,2してしまいましたか。とりあえず 充実したOB通信
の才一号です。これからいよいよ内容を検討・充実し
より一層OB諸兄との熱いつながりを保ち、2行き
たいと思います。 主筆 4年03年-2年5組ニバ

OB通信 — 信州大学山岳会発行

1985.12.18号